

平成 20 年度豊島区財務諸表の概要

1. バランスシート

バランスシートの借方(左側)では区がどのような資産を有しているのが表わされています。

バランスシートの貸方(右側)では区が有する資産について、どのように資金調達を行ったのが表わされています。

(単位:千円)

借 方	貸 方
<p>[資産の部]</p> <p>1. 公共資産 <u>293,713,797</u></p> <p>2. 投資等 <u>11,373,979</u></p> <p>3. 流動資産 <u>13,640,187</u></p> <p>資 産 合 計 <u>318,727,963</u></p>	<p>[負債の部]</p> <p>1. 固定負債 <u>61,160,960</u></p> <p>2. 流動負債 <u>9,195,566</u></p> <p>負 債 合 計 <u>70,356,526</u></p> <p>[純資産の部]</p> <p>純資産合計 <u>248,371,437</u></p> <p>負債・純資産合計 <u>318,727,963</u></p>

将来返済しなければならない資金です。つまり、将来世代が資金を負担することになります。

返済義務のない資金です。現在までの世代が負担した資金ということになります。

バランスシートは豊島区のストック（これまでの行政活動で生み出された資産）の状況を表すものです。平成 20 年度は資産 3,187 億円、負債が 704 億円、純資産が 2,484 億円となっていますが、ここでは区の財務状況をわかりやすく理解するため家計に例えて考えていきます。

資産とは自治体が行う行政経営の資源であり、家計でいえばひとつの家庭が抱える財産ということになります。家庭が抱える財産には家や車など有形なものから株券や預貯金など無形なものまで幅広く存在しますが、こうした財産をどのように取得したのがバランスシートの貸方（右側）で示されています。貸方に計上されている負債とは将来返済義務のある資金のことで、家計でいうところの借入金やローンの残高になります。その一方純資産は将来の返済義務がない資金のことで、家計でいうところの所得収入などになります。

豊島区の財務状況は資産合計のうち約 22%が負債、残りの約 78%が純資産となっています。これはひとつの家計が抱える財産のうち約 2 割が借入金やローンを組んで取得されているのと同じ状態です。自治体の場合は保有する資産の関係上負債額をゼロにすることは困難ですが、財務状況をより健全なものにするため負債割合を減らす努力は今後も続けていく必要があります。

2. 行政コスト計算書

(単位:千円)

経常行政コスト	75,654,164	行政サービスの提供に要したコスト
1. 人にかかるコスト	22,617,645	
2. 物にかかるコスト	19,724,739	
3. 移転支出的なコスト	32,257,058	
4. その他のコスト	1,054,722	
経常収益	4,163,489	行政サービスの対価として 利用者等から受け取った収益
純経常行政コスト	71,490,675	経常収益を差引いた 純粋な経常行政コスト

バランスシートが豊島区のストックの状況を表したものであるのに対し、行政コスト計算書はフロー（単年度分の資産形成を伴わない行政活動の経費）の状況を表しています。経常行政コストの内訳は人件費などの「人にかかるコスト」、物件費などの「物にかかるコスト」、社会保障給付などの「移転支出的なコスト」、「その他のコスト」になります。経常行政コストに占める割合でみると「移転支出的なコスト」が最も高く 42%、つぎに「人にかかるコスト」の 30%となっています。経常行政コストから経常収益を差引いた純経常行政コストは 715 億円となっており、このコストには税金等が充当されることとなります。

3. 純資産変動計算書

(単位:千円)

期首純資産残高	230,286,453	
純経常行政コスト	△ 71,490,675	行政サービス提供のためのコストに 純資産が充当されたことを表します。
一般財源	73,493,209	
補助金等受入	15,932,971	
臨時損益	149,479	
期末純資産残高	248,371,437	期末純資産残高はバランスシートに おける純資産合計額と一致します。 これは純資産変動計算書がバランス シート純資産の部における当年度の 変動を表したものであるためです。

純資産変動計算書を見れば当年度の純資産がどのような要因で変動したのか把握することができます。平成 20 年度の期末純資産残高は 2,484 億円となっています。純経常行政コストに純資産から 715 億円を充当しましたが、一般財源による収入が 735 億円、補助金の受入が 159 億円、臨時損益が 1 億円計上されたため期末純資産残高は期首純資産残高と比較して 181 億円増加しています。一般財源による収入 735 億円のうち区税収入は 289 億円となっています。

4. キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

経常的収支の部	
支出合計	68,404,294
収入合計	90,258,227
経常的収支額	21,853,933
公共資産整備収支の部	
支出合計	13,647,864
収入合計	2,913,798
公共資産整備収支額	△ 10,734,066
投資・財務的収支の部	
支出合計	10,566,767
収入合計	415,249
投資・財務的収支額	△ 10,151,518
当年度歳計現金増減額	968,349
期首歳計現金残高	3,774,220
期末歳計現金残高	4,742,569

期末歳計現金残高はバランスシート資産の部の歳計現金計上額と一致します。

キャッシュ・フロー計算書を見れば当年度の資金収支の状況を把握することができます。平成 20 年度の期末歳計現金残高は 47 億円となっています。公共資産整備収支で 107 億円、投資・財務的収支で 102 億円のマイナスとなりましたが、経常的収支が 219 億円のプラスとなったため当年度の歳計現金増減額も 10 億円のプラスとなっています。

5. 連結財務諸表

豊島区では普通会計以外にも特別会計で様々な事業を行っています。また区が自ら行う事業の他にも第三セクター等、一部事務組合・広域連合を介して行う事業もあります。連結財務書表ではこれら全ての会計、団体を含めた形での豊島区の実質的な財務状況が表わされており、また連単倍率では普通会計以外の部分が構成する財務状況の割合が表わされています。例えば、連単倍率が 200%を超える場合には普通会計以外の部分が構成する割合の方が多いということになります。

【連結対象会計・団体】

公営事業会計	外郭団体	一部事務組合・広域連合
国民健康保険事業特別会計	豊島区土地開発公社	特別区人事・厚生事務組合
老人保健医療事業特別会計	(財)としま未来文化財団	特別区競馬組合
後期高齢者医療事業特別会計	(財)豊島区勤労者福祉サービスセンター	東京二十三区清掃一部事務組合
介護保険事業特別会計	(医療)豊島健康診査センター	東京都後期高齢者医療広域連合
	東長崎・椎名町駅整備株式会社	
	(株)豊島にぎわい創出機構	

(1) 連結バランスシート

(単位:千円)

財務分析項目	普通会計 A	連結後 B	増減額 B-A	連単倍率 B/A
資産合計	318,727,963	351,232,276	32,504,313	110%
負債合計	70,356,526	77,545,987	7,189,461	110%
純資産合計	248,371,437	273,634,506	25,263,069	110%
有形固定資産合計	292,147,022	317,030,224	24,883,202	109%
世代間負担比率	85%	86%		

(2) 連結行政コスト計算書

(単位:千円)

財務分析項目	普通会計 A	連結後 B	増減額 B-A	連単倍率 B/A
人にかかるコスト	22,617,645	25,084,244	2,466,599	111%
物にかかるコスト	19,724,739	22,531,788	2,807,049	114%
移転支出的なコスト	32,257,058	78,169,360	45,912,302	242%
その他のコスト	1,054,722	9,264,375	8,209,653	878%
経常行政コスト	75,654,164	135,049,767	59,395,603	179%
経常収益	4,163,489	46,522,785	42,359,296	1117%
純経常行政コスト	71,490,675	88,526,982	17,036,307	124%

(3) 連結純資産変動計算書

(単位:千円)

財務分析項目	普通会計 A	連結後 B	増減額 B-A	連単倍率 B/A
期首純資産残高	230,286,453	255,100,349	24,813,896	111%
純経常行政コスト	△ 71,490,675	△ 88,526,982	△ 17,036,307	124%
一般財源	73,493,209	73,643,694	150,485	100%
補助金等受入	15,932,971	35,041,665	19,108,694	220%
臨時損益	149,479	152,136	2,657	102%
資産評価替えによる変動額	0	1,231,915	1,231,915	
その他	0	△ 2,329,037	△ 2,329,037	
期末純資産残高	248,371,437	274,313,740	25,942,303	110%

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

財務分析項目	普通会計 A	連結後 B	増減額 B-A	連単倍率 B/A
経常的収支額	21,853,933	31,377,274	9,523,341	144%
公共資産整備収支額	△ 10,734,066	△ 11,899,273	△ 1,165,207	111%
投資・財務的収支額	△ 10,151,518	△ 16,883,366	△ 6,731,848	166%
当年度資金増減額	968,349	2,594,635	1,626,286	268%
期首資金残高	3,774,220	8,163,215	4,388,995	216%
期末資金残高	4,742,569	10,757,850	6,015,281	227%